

《担当者名》非常勤講師 / 工藤 正尊 蝦名 康彦

【概要】

産婦人科学は、ヒトの生殖現象を主に女性の側から扱う学問である。歯科患者の50%は女性であり、女性特有の妊娠や各種の疾患を最低限理解しておくことは、女性患者の治療において必須なことといえる。そこで産婦人科学の講義は、歯科臨床上で最も問題なりうる妊娠・産褥を主体に、発生・内分泌学を含めて治療上の注意点に重点をおいて行う。

【学修目標】

生殖生理の基本を理解し、女性患者を治療する際の注意点を習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	女性生殖器の解剖・生理	産婦人科学が対象とする女性生殖器の解剖・生理を臨床上に解説する。	工藤 正尊
2	女性の性周期 受精・着床	女性の正常性周期における性器及び性器外変化、並びに内分泌動態について解説する。 精子及び卵子の成熟と結合及び受精卵の着床過程について解説する。	工藤 正尊
3	妊娠（母体、胎児）と分娩・産褥の生理 妊婦の全身的特徴 妊娠による口腔内の変化	妊娠期、分娩、産褥期までの母体と胎児の生理について理解する。 妊娠中の循環、呼吸、代謝などの身体的変化、さらに心理的变化について理解する。 妊娠中にみられる口腔内の変化とその対応について理解する。	蝦名 康彦
4	歯周病と早産リスク 妊娠中の薬剤内服 妊娠中の局所麻酔	全身病としての歯周病が早産につながることを理解し、妊娠中の口腔内ケアの重要性を理解する。 妊娠初期、中期以降、授乳期における薬剤内服の留意点について理解する。 妊娠中に用いる局所麻酔薬の血行動態、使用上の留意点について理解する。	蝦名 康彦

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート（100%）

【学修の準備】

- 予習として、あらかじめ配付する資料に目を通す。（30分）
- 復習として、講義中疑問だった点をまとめる。（30分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

- DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。
(専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力)
- DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。
(総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力)
- DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との

研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。

(科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢)

DP 4. 多職種(保健、医療、福祉、介護)と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。

(多職種連携能力)

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。

(社会における医療の役割の理解)

【実務経験】

工藤 正尊(医師)、蝦名 康彦(医師)

【実務経験を活かした教育内容】

産婦人科医師としての実務経験を活かした講義をすることで、歯科医療の現場で役立つ知識、技術、態度の習得に寄与する教育を実践している。